

保護者 様

学校法人 日出学園
学園長 青木 貞雄

日出学園の創立記念日に寄せて



初代理事長 青木要吉

1 1934年（昭和9年）創立の本学園は87周年を迎えます

2 創立記念日の由来<誕生年月日 1867年（慶応3年） 11月2日>

市川在住で学園創立の中核を担った初代理事長、青木要吉の誕生日である11月2日を記念して決めました。

3 建学の精神と校訓

<建学の精神>

「日出学園創立の趣旨書」において記された中から以下を建学の精神としました。

- 一、日本精神の涵養に重きを置き霊的教育の基礎を確立すること。
- 一、旺盛なる心身の発達力を涵養すること。
- 一、精確にして強き実践力を養うこと。

<校訓>

1934年（昭和9年）

「なおく・あかるく・むつまじく」制定

1954年（昭和29年）

高等学校設立時に文語体制定

- 一、至誠を基とし、中正の道を尚ぶこと
- 一、明朗快活にして、責任を重んずること
- 一、和衷協同して、苦楽を共にすること

1957年（昭和32年）

「なおく・あかるく・むつまじく」を漢字で表記「誠・明・和」と制定

4 青木要吉の経歴

要吉は岡山の出身で、明治23年京都同志社を卒業し、暫く仙台の東華学校で教鞭を執りました。その後米国に留学し、エール・コロンビア大学で経済学を修めました。帰国後岡山中学教頭を務め、六高講師、山陽高女校長を兼ねました。その指導はきわめて熱心厳格で、主として英語・修身（現在の道徳）を講じました。教え子の中には、山梨勝之進、星島二郎、大賀一郎、鶴見祐輔、安井誠一郎の諸氏がいます。明治38年実業界に転じ、大正6年市川菅野に居を構えたのを機に、わが国の教育に志を立て、私立学校設立を企図しました。

5 学校創立の頃

昭和9年市川在住の有志が、皇太子殿下（現上皇陛下）のご誕生を奉祝するため、特色ある学園を創設して理想的な児童教育をしようと計画しました。要吉を中心に、平田華蔵氏、海塩錦衛氏、田中友衛門氏、後藤一郎氏等の協力によって日出学園の誕生が叶いました。

皇太子（現上皇陛下）誕生を記念し、力強い日の出の意味からも日出学園と命名し、昭和9年4月6日に授業を開始しました。幸運にもこの年市川町に新たに市制が決まり、八幡町、中山町と合併して市川市が誕生したことも忘れることができません。

開園当時は小学校と幼稚園だけで、教職員は平田華蔵学園長（国府台女子学院創立者）をはじめ僅かに4名に過ぎませんでした。小学校は設立の認可が遅れ、児童募集が徹底しなかったため、入学児童は僅か8名でした。昭和16年には財団法人として学園経営の認可を申請し、同年2月、文部省より財団法人認可のもと発足しました。昭和22年に中学校、昭和25年に高等学校を新設し、昭和26年、私立学校法の施行により、学校法人に組織変更し、同年2月県知事の認可を取得し、新組織のもと確固たる地歩を築き、現在に至ります。

6 歴代理事長

初代 青木 要吉
2代 青木 正雄
3代 畠山 蔵六
4代 青木 登
5代 青木 貞雄（平成12年6月就任）

7 歴代学園長

初代 平田 華蔵
2代 中村 佐忠
3代 青野 謹弥
4代 西村 房太郎
5代 近藤 時司
6代 小柳 篤二
7代 重田 定正
8代 神田 順治
9代 前川 峯雄
10代 大山 信郎
11代 永尾 二郎
12代 青木 登
13代 青木 貞雄（理事長・学園長兼務）

以上